

沖縄国際映画祭は地元沖縄での開催ということで、夏には黙つていても人が来ますけど、人が来ない時期の3月に開催ということで非常に嬉しいです。僕が独身で20代の頃だったら、「芸能人が来て人もいっぱいのお祭りで嬉しいです」ということを言つたと思うんですけど、40歳になつて家族を持つと、沖縄にとつて何が本当に一番良いのかと真剣に考え出すじゃないですか。年取つてみると考え方方が変わつてきて、「あつ沖縄が潤う」とか考へてました。

いたんです。そうすると仕事の規範の大さく、内容の濃さ、全て東京が勝っているんです。そうすると、東京で頑張つて疲れたときこそ沖縄に価値を感じるんだなって。そういう意味でも東京で頑張りながら、東京しかできない大きな仕事を全部経験して身につけた上で、60歳、70歳になつて沖縄に来たときにはその経験を活かして、若手の育成やまちおこし、沖縄の企業やテレビの作り方なんかに僕が学んできたものを還元できればいいなと思っています。

A portrait of a smiling man with dark hair, wearing a dark jacket with text on the collar. The text on the collar reads "THE'S LEE" and "OF EFTS" on the left side, and "CHUCK" on the right side.

## • Series 27 地域の目

## Chiiki no Me

## 世界中の人が沖縄中毒になる島づくりを!

お笑いコンビ「ガレッジセール」 ゴリ

～沖縄は5月15日に本土復帰40周年を迎えます。5月22日が誕生日の「復帰っ子」のゴリさんに、沖縄国際映画祭開催中の3月28日に宜野湾市内でお話を伺いました～

体が美しいんです。でも沖縄は、沖縄っぽいのがあつたり急にアメリカっぽいのがあつたり、東京の真似したりとかばらばらです。これが沖縄だよねというのがないんです。ハワイはまち全体をハワイというイメージ一色に染めています。沖縄でも、国際通りに沖縄民謡を誰に聴かせるでもなくただ生演奏している人がいて、人が集まってくれなくて歩いていたら普通に沖縄の曲が流れているようなことができればと思います。観光地の一番大事なものって非日常感だと思っているので、東京っぽい店があつたりとかしたらダメだと思つんです。また、シンガポールは近代的なビルがいっぱい建つてますけどクリーン＆グリーンを推進して木もかなり植えているので、閉塞感がなくすごく居心地がいいんです。緑は絶対に大事ですから、沖縄らしいカジュアルとかをたくさん街に植えるのもいいと思います。あと、冬でも常夏が味わえる施設があつたからもっと客が来ると思います。正月に芸能人がハワイなんかに行くのは沖縄が寒いからなんです。冬でも沖縄で南国を味わえる、福島にあるような巨大なハワイアンリゾートで沖縄の踊りが見られたりする施設があつたらなと思います。それがあると夏は客が来ないじゃないかとなるので、夏にも来てもらうために、沖縄には大きな遊園地がないですから巨大大な遊園地と一緒に大きな総合施設があると思います。

「熱いお湯の中に入れ」って言われた  
ら入りましたし、危険なこともいつ  
ぱいやりました。がむしゃらに頑  
張つてきたからこそ今の地位がある  
とも思っています。でも、これからは  
もう少し自分でしっかり仕事を選び、  
自分から仕事を生み出し作品を作つ  
て発信していく。僕は映画監督とい  
う仕事をやらせてもらつていて、今  
年初めにはショートムービーを自主  
制作で撮つたんです。自分の表現し  
たいものを映画とかショートムー  
ビーという作品で表現することを多  
くしていこうと思つています。また、  
日本全国に沖縄出身のゴリつて奴が  
いるのは知つてもらえたので、今度  
は世界に、沖縄出身でこういうエン  
ターテイメントの表現をする奴がい  
ることを知つてもらいたいし、世界  
の人を喜ばせられるウチナーンチュ  
になりたいです。僕にとつて今はそ  
れが映画だと思うんです。世界の人  
を笑わせられるような作品を作れた  
らと思います。